

吉原第三中学校交流40周年 事業終了

(2005年5月頃の写真)



第761号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(7月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,252人
女 3,269人
総人口 6,521人
世帯数 2,250戸

6月21日(金)

絆をいつまでも 富士市で「ありがとうの会」

富士市立吉原第三中学校
勤労体験学習が四十周年で
終了するにあたり、当該中
学校を会場に記念式典が開
催された。

式典では、ふじ友の会に
感謝状が贈呈され、四十年
の歴史を映像や写真等で振
りかえった。

懐かしい思い出と感謝の
気持ちに満ちた心温まる式
典となった。

ふじ友の会 会長
筒井伸治

去る六月二十一日(金)、
静岡県富士市吉原第三中
学校において、「豊丘村農
業体験四十周年ありがとう
の会」が開催され、村から、
受け入れ農家の組織である
ふじ友の会会員と関係者計
十五名で参加しました。二
年生を対象とした農業体験
は、昨年をもって終了し、
今回の記念式典でひとつの

伝えていく思い
実行委員長
三年生 鈴木捺稀

私は、「豊丘村交流あり
がとうの会」で実行委員長
を務めさせていただきまし
た。お忙しい中、吉原第三
中学校まで、お越しいた
さきありがとうございます。
また、これまで四十年
間、私たち三中生を受け入
れてくださり、今は感謝し
かありません。今回はお世
話になった皆様に感謝の気
持ちは伝えられる会を開
催でき、とても嬉しく思
いました。私
は、感謝状を
贈呈させてい
ただいた場
面、最も印象
に残っていま
す。グループ
で感謝状を作
成するときは、
グループごと
に受け入れ農
家の皆様に
お世話にな
った思いを、
自然に語り合
うことができました。農業体験はみんな
なにとっても思い出として
色濃く残っています。私は
この農業体験で、農家の皆
様や両親への感謝などを改
めて実感しました。私自身
この農業体験で得たことや
思い出を、これからも後世
に伝えていきたいと思っ
ています。ありがとうございます。



実行委員会から感謝状が贈呈された

学習会・成人講座共催事業 人生100年を生きる 89歳のアプリ開発者 若宮正子先生

若宮正子先生の
講演会

林原 大原千賀子

七月六日、公民館学習会
は今回成人講座との共催と
なり、ゆめあるては溢れる
ほどの方々が参加されまし
た。ステージに立たれた先
生は小柄な方でどこにでも
いる御婆さんのように見え
ましたが、ご自分でパソコ
ンを開き一時間半立ったま
までパソコンをみることも

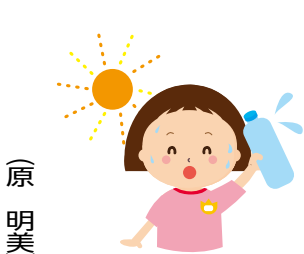
少なく、お話をされました。
新しいことが好き、何事も
前向きな考え方で分からな
いことは何回もやって見る、
アプリの使い方も分からな
い中で、高齢者も楽しめる
ゲームはないかと思いつ
き「ひな壇」ゲームを作ら
れた。ひな壇アプリがきつ
かけで、アメリカや台湾に
も招待され、トークショー
を開いたり、国内でも内閣
府主催の高齢者社会対策検
討委員として首相や大臣方

と席を並べ、精力的に活動
され、介護の現場でも介護
者の負担を少なく等々提案
している。ITを使いこな
しているデンマークは全
てネット注文で経済効果が
大きいそうです。
もう私は年だから通用
しない、百年生きるために
自分は何をしたいか、自分
を活かす自分にしか出来な
い事はあるはずと話された。
日常忙しくとも誰でも持
っている携帯電話スマホを使

若宮先生
の生き方の
素晴らしさ
を思い、私
も前向きに
やりたいこ
とを見つけ
残りの人生
を楽しんで
行きたいと
思いました。
いくつにな
っても役
に立つ人
でありたい
と思う一
時間半で
した。



学習会も成人講座も毎月
素晴らしい先生方を呼んで
頂き公民館の中の広さ、支
援の厚さに感謝しています。



(原 明美)

地球の上に日傘をさすわ
けにもいきません。適度に
エアコンや扇風機を使っ
たり、水分補給、アイスネッ
クを首に巻いたりして乗り
きりましょう。くれぐれも
冷たいものとりすぎには
ご注意ください。
まだまだ暑い日が続いま
す。体をいたわりお過ごし
ください。

今年も、やっぱり暑
いですね。最近酷暑日
最高気温が四十度超えの呼
び名もできました。どれだ
け暑いかということですが、
小学校の運動会も九月で
は残暑が厳しいので、暑く
なる前の五月に変更する学
校もあるようですが、その
五月でさえ暑い日が多く
なってしまう、具合が悪く
なる児童もいるようです。
いったいいつやれば良いの
か悩ましいところです。

日中だけでなく夜も暑い
日が多く、夕方から翌朝ま
での最低気温が二十五度以
上を熱帯夜と呼びますが、
三十度以上になると、超熱
帯夜と呼ぶそうです。
超びっくりです。

段丘
今年も、やっぱり暑
いですね。最近酷暑日
最高気温が四十度超えの呼
び名もできました。どれだ
け暑いかということですが、
小学校の運動会も九月で
は残暑が厳しいので、暑く
なる前の五月に変更する学
校もあるようですが、その
五月でさえ暑い日が多く
なってしまう、具合が悪く
なる児童もいるようです。
いったいいつやれば良いの
か悩ましいところです。

公民館報『とよおか』

五大ニュースをさかのぼる

（六）昭和46年

①4月の村長、村議選は無投票で決着した。「館報とよおか」では別刷り選挙特集を発行し、村のマスコミとして詳報した。しかし無投票という結果に「候補者は自分の政策や抱負を訴え村民の審判を受ける機会を失い、村民は村政を託すべき人を自らの手で選ぶ機会を失ってしまった」と嘆いた。また「地区推薦のよ

昭和46年(1971年)の五大ニュース 総投票数450票		
1	村長、村議選無投票	77票
2	農協合併へ動く	74票
3	第二次農業構造改善事業に着手	65票
4	減反で蔬菜づくり盛ん	39票
5	進む村道舗装	32票

うな旧弊を打破して誰でも気楽に立候補でき」る環境が必要、と指摘した。

②神稲、河野両農協が3月の総会で1年後の合併を決議。新しい農協の建物もでき、合併により団地作りなどの大規模化、大口取引の有利性などを目指した。

③前年から計画されていた第2次農業構造改善事業がいよいよ着工。圃場整備事業ではブルドーザーが小さな水田を一旦つぶし、広い水田に生まれ変わるための工事が始まった。農道や水路の工事も行われ、農村の景色が変わり始めた。果樹や桑園、畜産、蔬菜の団地化、機械化も4年計画で進められた。

④71年はアメリカのニクソン大統領が金とドルの交換を停止（ドルショック）。ドルの価値が下がり1ドル1360円という固定相場制から308円に切り上げられた。日本の輸出産業は苦境に立ち、高度経済成長は終わりを告げる。農業では養蚕が打撃を受けた。米の減反政策もあり、村内の農地では野菜や花卉栽培への転換が増えた。多かったのはキュウリ、イチゴ、ピーマン、レタス、リンドウな

あの伝説の番組が帰ってきた。「プロジェクトX」挑戦者たち」である。巨大なプロジェクトの片隅で頑張り支えた無名人たちが光を当てるドキュメンタリー番組である。十八年ぶりに復活した番組の初回は「東京スカイツリー建設」。技術者や職人たちの舞台裏の知られざる人間ドラマだった。ものづくりに係る仕事に少なからず携わってきた身にとって、感動的で前回同様胸が熱くなった。

番組の主題歌は前回と同じ、中島みゆきの『地上の星』。キーを上げて新たに収録したため『新・地上の星』となったが、歌詞と地響きのようなドラムの音で始まる力強い曲調は変わら

ない。♪地上にある星を誰にも覚えていない 人は空ばかり見ている♪♪つばめよ高い空から教えてよ 地上の星を♪ 世の中には人知れず偉業を支えた無名人のたちがいる。逆境に立ち向かい地道に奮闘した光り輝く人たちがいる。まさに「地上の星」。「すごい人たちは身近にいる。誰もが光を放っているのだ」というメッセージが伝わってくる。

私は杉並区役所で建築確認、許可、都市計画、防災まちづくり等に携わってき

歌は世につれ〜三十四話

無名の人たちに敬意を込めた『地上の星』

上佐原 小池 光好

歌の数々。その一つが『地上の星』だった。疲弊した心を癒やし奮い立たせ背中を押して

た。用途地域の指定・変更、方針や計画の策定・改定、条例や規則の制定・改正等、一部を除けばいずれも定型的で単調で跡形もない事務が主だった。日々続く図面審査、窓口対応、トラブルや苦情の対応などに対するモチベーションの維持・向上には苦心した。支えとなったのは歌だった。慰め励まし勇気づけてくれた

『地上の星』は、中島みゆきの「旅はまだ終わらない♪（中島みゆき『ヘッドライト・テールライト』。同番組のエンディングテーマ曲）



どだった。

⑤昭和44年に始まった村道の舗装工事はバス路線以外の村道でも進み、この年には費用約5,607万円をかけて延長16,650mの工事が終わった。デコボコ道が改良されたことは良いことだったが、スピードを出す車が増え交通事故が心配された。

★この年の出来事

対米貿易黒字23億ドル超、日米貿易摩擦問題化／ボウリングがブーム／TシャツとGパン、爆発的流行

★ヒット曲

『わたしの城下町』 小柳ルミ子／『知床旅情』 加藤登紀子／『また逢う日まで』 尾崎紀世彦

監修：筒井 芳夫さん
吉川 達郎さん
文責：壬生 雅穂

夏休み

こどもウィークス

広報

子どもたちに、自然や文化に触れ地域への愛着を感じてもらえるよう、公民館では夏休みに沢山の事業を開催いたします。

今年も皆さまのご参加をお待ちしています。

★ゆめスタ【小・中】
（七月二十三日～二十六日、八月六日）
ゆめあるてに集まって、涼しい環境の中で集中して勉強しましょう。みんなでき取り組めば、夏休みの宿題もあつという間に終わらせるかもしれません。

★ジュニア防災学【小五・六】
（八月二日～三日）
小学校五・六年生対象に避難所体験事業を行います。電気が使えない、水も制限があるなかで工夫をして生活をしてみましょう。

★星空観測会（八月十二日）
元国立天文台の佐伯先生による星空の解説とともに、望遠鏡をのぞいて星雲などを見てみよう。

★武田信玄狼煙上げ（八月二十四日）
武田信玄も使っていた、昔ながらの通信方法「のろし」をあげて、歴史ロマンを感じてみましょう。時を越えて伊那谷から遠く甲州へつなげるメッセージを送りましょう。

★親子の読書ひろば【保育園・小学生の親子】
（八月二十五日）
親子で本を読む時間は、子どもたちの豊かな心を育んでくれます。時にはゆったりと流れる時間を感じて、本の世界を楽しみませんか。公民館の他にも、次のようなイベントが予定されています。

★野田平蛇川溪谷沢あるき体験ツアー【小学生以上】
（七月二十八日、八月四日、八月十一日）
蛇川の清流を歩いて、ポットホールまで向かいます。お申込みはとよおか総合型地域スポーツクラブまで。 九時半から。

★バードウォッチング／サイクリング【小学生以上】
（七月二十七日）
朝に、散歩をしながら、野鳥を観察します。九時から自転車に乗れない子向けに、自転車教室を開催します。お申し込みはとよおか旅時間まで。

★テニス＆ソフトテニス体験会【小学生以上】（八月四日）
とよおかテニスクラブで体験会を行います。小学生以上ならどなたでも参加できる会です。 林原テニスコートで午前九時半から。

夢みた遙か地平線

その14 カジュラフォの寺院で迎えた『インド独立記念日』

北市場 福澤郁文

寺院の壁面を埋め尽くす彫像群。なかでも女性の裸体の官能的な彫刻像が、紺碧の空の下、それも寺院の壁面のすべてを覆っているのだ。十世紀ころの建造物で、ジャイナ教とヒンドウ教の寺院群のあるカジュラフォへ着いた。

永い間に渡りうっそうとした植物群に埋もれていたのだという。二日もあればすべてを廻ることができそうであるが、僕は寺院周辺のジャングルを歩き回っていた。観光客はまったく寄りつかない。壁が崩れ落ち、朽ちた寺院に入っていくところ、中から美しい笛の音が聴こえてくるではないか。見ると盲目の老人が伽藍の下で横笛を吹いている。

薄暗闇の空間に独り、風に震えるような音色を聴きながら永い時間を過ごした。これはバングラで耳にしたバウルと同じだと思った。西に夕日が沈む時間、伽藍を出た。浅い湖を横切り戻る途中、足先に触る石がある。取り上げてみると泥のなから豊かな乳房を抱いたミトゥナ像が現われた。

翌日は花火があがり、寺院の至る所から太鼓の音も鳴り響いてきた。八月十五日。この日はインドの独立記念日。英国支配の下での永いインドの歴史の苦悩を

考えてみる。

アジャンタ遺跡とエローラ遺跡

目的のないような気ままなインドの旅を続けていた。河の流れにそって生まれた峡谷に多くの洞窟があり、その全てが寺院になっているアジャンタ遺跡。三十を数える寺院が発掘されているが、僕が訪ねた時代には、未だ開発されず未開の観光地であった。

重厚な柱と宮殿のような内部には、壁画や天井画が見える。その細密な千体仏の数々に圧倒される。観光客はほとんどいない。未開発の洞窟は自然のままである。ここが仏教徒僧侶の修業石窟寺院としてあった時代に想像を巡らせてみる。

バスを乗り継ぎ一日かけてエローラ遺跡に向かう。シャカによって開かれた仏教、ヒンドウ教、ジャイナ教。インドの三つの宗教の寺院群があるエローラの石窟群。谷間に出現した、まるで宇宙のような遺跡群である。インドの宗教観の深さと、この巨大な石窟群を創り出した芸術的な力には圧倒されるのだった。

その後、白大理石で建造されたタージマハールを見学した。輝くほどの豪華な装飾に圧倒される。この観光地を訪れるインド女性の鮮やかなサリー姿が美しい。だが、僕には哀しい物語りが秘そむ、その白亜の殿堂を遠くに眺めることがで



カジュラフォ寺院
眉曳くミトゥナ像

の眺望が気に入ったのである。

衝撃を受けたジャーナリストの先輩
首都デリーで日本の大手新聞社の記者を訪ねた。ある人から紹介をうけていた。記者の取材はインドのみならず、中近東からタイまでと、実に広い範囲で行動し情報収集する、ジャーナリストの取材スケールの広さに驚かされた。

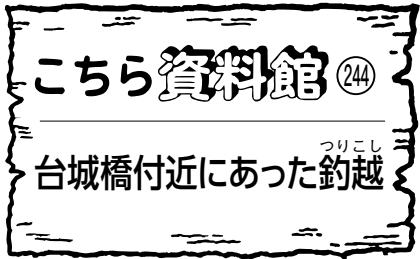
ホテルの一室には、各国の新聞や雑誌記事がテーマごとに壁面一面に整理されていた。数人のインド人スタッフが忙しげに動き回っていた。その部屋に満ちている緊張感には圧倒された。それまでのヒッピーのような旅暮らしの自分「おまえはなにをしているのか：」時間の制約もなく、気の赴くままにインドの旅を続けていた自分自身を恥かしく思ったのだった。

バングラデシュのこと、ボランティアとして働いた半年余りの出来事、撮りためていた写真などのことなどを話しているうちに、『東京本社の友人記者を紹介するから彼を訪ね、写真を見せろ：』

その部屋のインドとはまったく異なる空気に触れ、僕の内なる鈍い精神に火花がショートしたような感じだった。

日本に戻り働きたくなったのだ。チャンスがあればジャーナリズムの周辺で仕事をしたいと考えていた。

『インドの旅を終え戻ろう』と決めた。



ひやまぶちのぬし

松村鶴見

私は小学校の頃から山が好き、川も好き。きのこの出る時期は朝早い五時には家を飛び出す。朝飯前に回るところはまず蟹沢方面、ほったた方面、また高鳥谷くらいでありました。

蟹沢地籍にひやまぶちがあります。それは天然の陥没沼で数少ない沼であります。蟹沢、ほったた、高鳥谷方面一帯は鉄分の多い山でありますので、ひやまぶちは紅殻のような赤いソブの沼ぶちでありました。私が竿をさして見ましたら、深さ三メートルあまりありました。三角形の栗の実型のふつくらした沼ぶちで、周囲一面アラゴが生えておりました。

前号の続きである。河野秀男氏が、既に塩尻まで開通していた中央本線を使って帰省した明治四〇年の夏、伊那谷では、天龍

川を渡る手段は「渡し舟」が主で、江戸時代と変わらぬ状況が続いていた。本格的な架橋が始まるのはその直後の明治四二年以降のことであるが、それに先立つ五年前、短期間ではあったが「釣越」という乗り物が今の台城橋があるあたりに存在した。(図：古老の話を基にして武田彦左衛門氏が描いたもの)

またいかに、背の黒々とした大蛇が白く変わり、アラゴの上にぼーっと浮いているので、よく見ると一皮脱いだところ。非常に美しい光るような肌になっている。やあ、これは僕が一枚もらったいくよと長い皮をひつつかむが早い、まだ竜宮へ連れて行かれてはと一走り。大きな股をいっばいに広げ、たったたつたつとやってまいりました。

と鉄線がたるんで進まなくなるので、同乗していた運転者が外に出て屋台を後方から押して進む。向こう岸に着いたらカギを掛けて乗客を降ろす。まったく危険極まりない乗り物であった。この釣越の建設許可が降りたのが明治三八年四月であるが、竣工についての記録は確認されていない。だが、その年(明治三八年)の二月二十七日、屋台から乗客が転落して死者が出る事故が発生したことが分かっている。それ以後、自

ただいまの二丁隧道のうえ、北道観音様のところまで来ました。こは二丁方面から上がって来て北山道へ連絡のため掘割にしたところまで切通しと言っています。そこには草刈りに来ていた松村勝一君と松村国男君の二人が一休みしておりました。僕を見ると「キノコが出るかや」と言いました。「ははは、でっかいものを拾ってきたよ」と大蛇の皮を見せました。勝一君が尾っぽの先を引っ張り、僕が頭の口からボーっと吹いて膨らませてみたところ、やあでっかい、長さ

は二メートル余りだが胴回りが大きな茶碗ほどある。僕は朝飯前だ。早く帰らぬと親父から小言が出る。近道をして家に帰ると、二丁の松村金次郎さんが用あってこれ、父と話しながらお茶を一杯というところ。僕の帰ったのを見ると「きのこあつたけい」と言われた。

僕は例の大蛇の皮を「でっかいの拾ってきた」と見せた。金次郎さんが尾っぽの先を持ち、僕が口からボーっと吹いて膨らませて見せた。「いやーこれは見事なもの、これは御ふくら物だね」と言われました。父は昔から桐の木を買い、下駄の新木取りをして阿島座光寺、飯田の下駄屋へ下ろし、冬は下駄製造をしては売っていました。杣、木挽きができたので大きいよい桐の木を買って板にひいておりました。

その板を一枚もらい、下駄製造場へ入り父の道具を借りてごつごつと御ふくらをこしらえ出まると、大

蛇の皮を障子紙に包み、山利志大明神と書いて祭り込みました。座敷の床の間に置くと父にいけなと注意され、台所と下駄部屋の仕切りに大戸棚が置いてありましたので、その上へ上げておきました。

その後、幾度山を歩いても、また自分の水田がひやまぶちの下にあるので仕事に行つていても、つい大蛇の姿は見る事ができません。

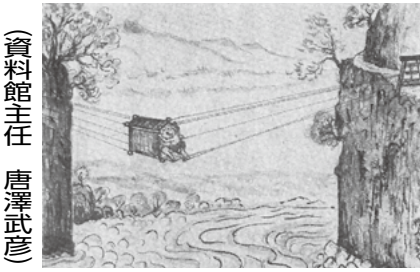
梅雨寒や歳時記そばに推敲す如何なる地球の氣象青田風草退治日課となして芒種なる風薫るペランダに夫誘ひけり明滅の重なり幾多恋愛

朴訥と草に収まり初堂母忌日低く飛び交ふ初燕清水吞みリニアの騒息づける

毎週月曜日 祝日 毎月第一日曜日(新) 八月十四日・十五日(新) 蔵書整理日 (二ヶ月に一回)(新) 蔵書点検期間 年末年始 ご理解ご協力をお願いいたします。

矢島千勢子 丸山 時子 林 恵美子 宮下 純子 松岡 照子 木下 眞水 森田 恵子 片桐 洋子

つばくろの末子もいよ飛び立てり 青柿や老なほひらく万華鏡 エンディグの歌声喫茶梅雨の雷 憂きことはひとまづ置いて初鯉



八月の移動図書 二日(金) 壬生沢福島 集落拠点施設 六日(火) 伴野勤労者 福祉センター 時間 午後八時～九時

「旅先で集めた調理器具や食器を、妻の顔を窺いながら断捨離」、「料理はレシビ通りが一番おいしい」、などなど。イラストレーターでエッセイストでもある著者の、台所や料理にまつわる思い出工夫、レシビなどが綴られています。同著者の『ジジイの片づけ』『ジジイの文房具』もどうぞ。

「動物たちは何をしゃべっているのか?」 山極 寿一(著) 鈴木 俊貴(著) 集英社

ゴリラとシジュウカラの研究者が、動物たちの言葉について語り合った対談集です。シジュウカラの囀りにも文法がある、手話を覚えたゴリラが語ったことは。動物たちの知られざる言語能力に迫ります。

然と使われなくなったそうである。実際に稼働したのはほんの数か月、あるいは僅か数日の命であったかも知れない。

研修室一・二 出演：おはなし紙ふうせん 内容：紙芝居、絵本、エプロンシアターなど

澤野 ひとし(著) 集英社クリエイティブ 集英社

「ジジイの台所」 澤野 ひとし(著) 集英社

「旅先で集めた調理器具や食器を、妻の顔を窺いながら断捨離」、「料理はレシビ通りが一番おいしい」、などなど。イラストレーターでエッセイストでもある著者の、台所や料理にまつわる思い出工夫、レシビなどが綴られています。同著者の『ジジイの片づけ』『ジジイの文房具』もどうぞ。

～シリーズ～ 豊丘の自然
No.246

モリアオガエルの卵のう (卵塊)



上郷公民館主催のモリアオガエルの講演と観察が迫っているのに、卵塊（卵）に関する疑問で困惑

その1 一雌二卵塊

宮下忠義先生は論文（原本ではない）がの中で、**産卵はかならず一雌二卵塊とまきまつている**、と書いている。私が今までに見聞きしているのは一雌一卵塊である。もちろん、……

• **そんな気がする腹の中に卵**
• **のう**（卵塊と区別する為に軽体動物で使われ卵を入れたくなる）**が**
• **二つ入った死体を中川村で採取**。先生は、この事実から一雌二卵塊と言ったのではないか。念の為、卵数を数えたら、どちらも11個で合

計222個(写真右)。ちなみに卵数の記載を調べたら、300と800、300と500、400と500などがあった。一卵塊の卵数も数えてみた。418個(写真左)。

その2 10/13、抱接写真あり)後、交通事故で死んだ雌の卵の散乱の話。どうしても考えられない。卵のうをかかえて冬眠するのか。でも、記録写真もある。

後日、6/9のまちがいたったと電話有り、一安心。(山田 拓)

も表現できることが
す。霧の朝、白く立
た霧の空部を大きく
ここに最手前に横か
出した柿の枝を配置
には柿の團場を下部
えてモノトーンの青
調としてみました。
冬場の寒さを青系だ
けで見せることで、
複雑な色を使わずに
鋭い枝を強く入れ込
んで冬の厳しさを表
現しています。

ありま
ちこめ
とり、
ら張り
し、奥
に横た
味の色

色をみせるキノコを、ここ
の主役として切り取りまし
た。全ての放射状構図に言
えることですが、画面の中
にポイントとなる素材を入
れることが大切となります
小さなポイントもあれば、



配置しました。上部
一では放射状構図と
し手前の部分では、
境内の状況など、内
容豊富にしかも単純
化することで立体表
現ができたのです。
手前を大きく奥に
行くに従い小さく扱
うのが立体表現の基
本となります。この
ようなことを実践し
て写真作品に選んだ
のが、田植えの時期

A person in a dark jacket and pants is using a long-handled tool to work in a flooded rice paddy field. The water is shallow and reflects the sky. In the background, a tractor is visible, and the field is surrounded by hills and some buildings. The scene is captured in a wide-angle shot, emphasizing the vastness of the paddy field.

先日開催された第二十七回豊丘村民ゴルフ大会に出場させて頂きました。自分にとっては久しぶりの豊丘村民ゴルフ大会で、大会前から楽しみにしておりました。

今回同組でプレイする方々は、初めてご一緒する方ばかりで緊張感を持ちながらのスタートとなりましたが、ご一緒させて頂いた方々は気さくな方ばかりでとても楽しい雰囲気でした。

鹿角明彦
下市場
去る六月十一日高森カシ
トリイ倶楽部にて豊丘村民
ゴルフ大会が行われ参加し
ました。
昨年同様に、同じメンバー
四名での参加となり、この
日は梅雨入り前で、朝から
好天に恵まれ、爽やかな気
持ちで、九時三十分にはス
タートしましたがスタート
四ホールまでは思うような

り上がったのではな
思います。

プレーを終え、懇
親会での成績発表を
聞き、結果、準優勝
することが出来まし
た。この表彰で、優
勝一回、準優勝二回
となり、今後は、再
度優勝をめざし、複
数回表彰を受けるよ
う村民ゴルフ大会に
参加していきたいと
思います。最後に大



村民ゴルフ大会結果

優勝…小池博幸
準優勝…鹿角明彦
3位…荒川 誠
4位…木下和章
5位…久保田孝文
6位(当月賞)…毛涯春雄
7位…菅沼卓巳
8位…壬生善廣
9位…片桐豊年
10位…宮下豪裕
特別賞(女性一位)…萩原美保
ベストグロス賞…池野克浩
エージシユート賞…寺沢宜勝

会関係者の皆様、御協賛してくださった各企業の各位に感謝申し上げ、村民ゴルフ大会参加の挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

第4分館
夏季スポーツ大会開催
体育部長 岩橋誠司

第四分館では六月二十三日（日）に令和元年以来五年ぶりに夏季スポーツ大会を開催しました。昨年度まではコロナ禍により、夏季スポーツ交流会としてマレットゴルフを実施してきましたが、コロナ禍も終わりました。スポーツ大会を復活させるにあたり、昨年度各自治会にアンケートを取りまし

た。内容は夏季スポーツ大会の種目を、以前のとおりソフトボール、ソフトバレーとするか、種目を変更して囲碁ボール、ボッチャなどの競技とするかの意向確認でした。結果として囲碁ボール、ボッチャを自治会对抗競技とし、マレットゴルフを個人参加競技として開催することを決定しまし

多かつたため、公民館役員
の配置を考慮する中で、午
前中にマレットゴルフを行
い、午後から囲碁ボール
ポッチャを実施しようと計
画しました。また、変則的
なルールですが、囲碁ボー
ル、ポッチャは五名以上を
一チームとして、交代しな
がら競技をしていたたく方

ムでした。当日はあいにくの雨天でマレットゴルフは中止となりましたが、囲碁・ポッチャは開催することができました。参加者の多くが競技を体験したことのない方でしたが、酒井浩文さん・ルール等説明いただいた後に開始したこともあり、どちらの競技もとて

盛り上がり、楽しく和気あいあいと進行することができました。今後はもっと参加チームが増え夏季スポーツ大会が盛り上がることで伴野区内の交流促進が図られることに期待します。

最近の流行はコンパクトデジタル
使いこなして写真力アップ！

絵画や写真はいかに立体的に見せるか、いつも考えていかなければならないことで、立体的に見せるテク

四 法
で

立体表現
奥行感で
立体表現

に、なぜこれを作者は選んだ大型田植え機を使い夫婦で田植えをする光景を切り取ったのです。田植え機が旋回すると泥が轍を作るこれを慣らすため平にする若い奥さん。泥田は茶色に濁り昼間の太陽がかき回されて歪む。一枚の中に物語を作ることで写真を見る人

なります。この一枚を撮るために数枚のシャッターを切っています。人物の形と田植機の位置や左右のバランスなど、様々な要素が一つとなった写真です。